

## SS 研科学技術計算分科会のご案内

## サイエンティフィック・コンピューティングの最前線

- ◆ 日時 : 2007年11月28日(水) 13:00~17:55、懇談会 19:30~21:30
- ◆ 場所 : クラウンプラザ神戸 10F ホールルーム

- ◆ 参加対象 : SS 研会員機関の方ならどなたでもご参加いただけます
- ◆ 参加費 : 無料
- ◆ 同時開催 : 同日に「研究教育環境分科会」、翌日から「合同分科会」が開催されます

### 開催趣旨

ペタスケールコンピューティング時代の幕開けを目前に控え、今回の科学技術計算分科会では「サイエンティフィック・コンピューティングの最前線」をテーマに、ペタ時代のアプリ、アプリケーションドメインを広げつつある専用計算機、再構成可能な演算素子のHPC分野への応用について国内を代表する講演者をお招きしました。

理研の高田様からは理化学研究所が開発している次世代スーパーコンピュータが、計算化学の分野に何をもたらすかについて、また国立天文台の牧野様からは、プログラマブルなSIMDプロセッサを採用した専用計算機GRAPE-DRの紹介とHPC用システムの未来像について講演をいただきます。また後半では、慶応義塾大学の天野様より、最近の高性能FPGAの登場がHPCにどのような展開をもたらすかについて、富士通様からはHPCサーバシステムのロードマップについて紹介していただきます。講演の最後のセクションでは理研の姫野様より SS研 Grid Computing2004 WGからの報告をいただきます。

夜の懇談会では東工大の松岡様をコーディネーターに、「専用アーキテクチャの応用範囲はどこまで広がるのか」について皆様と活発な議論を行う予定です。

### プログラム(敬称略)

12:30 ~ 13:00	受付
13:00 ~ 13:05	開会あいさつ 青柳 睦(九州大学情報基盤研究開発センター)
13:05 ~ 14:05 講演 50分 Q&A 10分	[1] 次世代スーパーコンピュータが拓く計算化学の世界 理化学研究所 高田 俊和
14:05 ~ 14:55 講演 40分 Q&A 10分	[2] GRAPE-DR とスーパーコンピューティングの未来 国立天文台 牧野淳一郎
14:55 ~ 15:15	休憩
15:15 ~ 16:15 講演 50分 Q&A 10分	[3] リコンフィギャラブルシステムのハイパフォーマンスコンピューティングへの応用 慶応義塾大学 天野 英晴
16:15 ~ 16:50 講演 30分 Q&A 5分	[4] Grid Computing 2004 WG 報告 ~グリッド・コンピューティングの行方~ WG まとめ役/理化学研究所 姫野龍太郎
16:50 ~ 17:50 講演 50分 Q&A 10分	[5] 富士通の HPC サーバロードマップ 富士通株式会社 追永 勇次
17:50 ~ 17:55	閉会あいさつ 青柳 睦(九州大学情報基盤研究開発センター)
17:55 ~ 19:30	夕食・休憩・ホテルチェックイン
19:30 ~ 21:30	【懇談会】「専用アーキテクチャの応用範囲はどこまで広がるのか」 ・ コーディネータ: 松岡 聡(東京工業大学) ・ パネリスト: 村上和彰(九州大学)、牧野淳一郎(国立天文台)、天野英晴(慶応義塾大学)、安藤壽茂(富士通)

#### 【お問合せ】 SS 研究会事務局

〒105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター  
富士通株式会社 カスタマーリレーション部内  
TEL:03-6252-2582(直通) FAX:03-6252-2934  
Email:ssken@ssken.gr.jp HP: http://www.ssken.gr.jp